

# 沖縄県職員採用ガイダンス2026

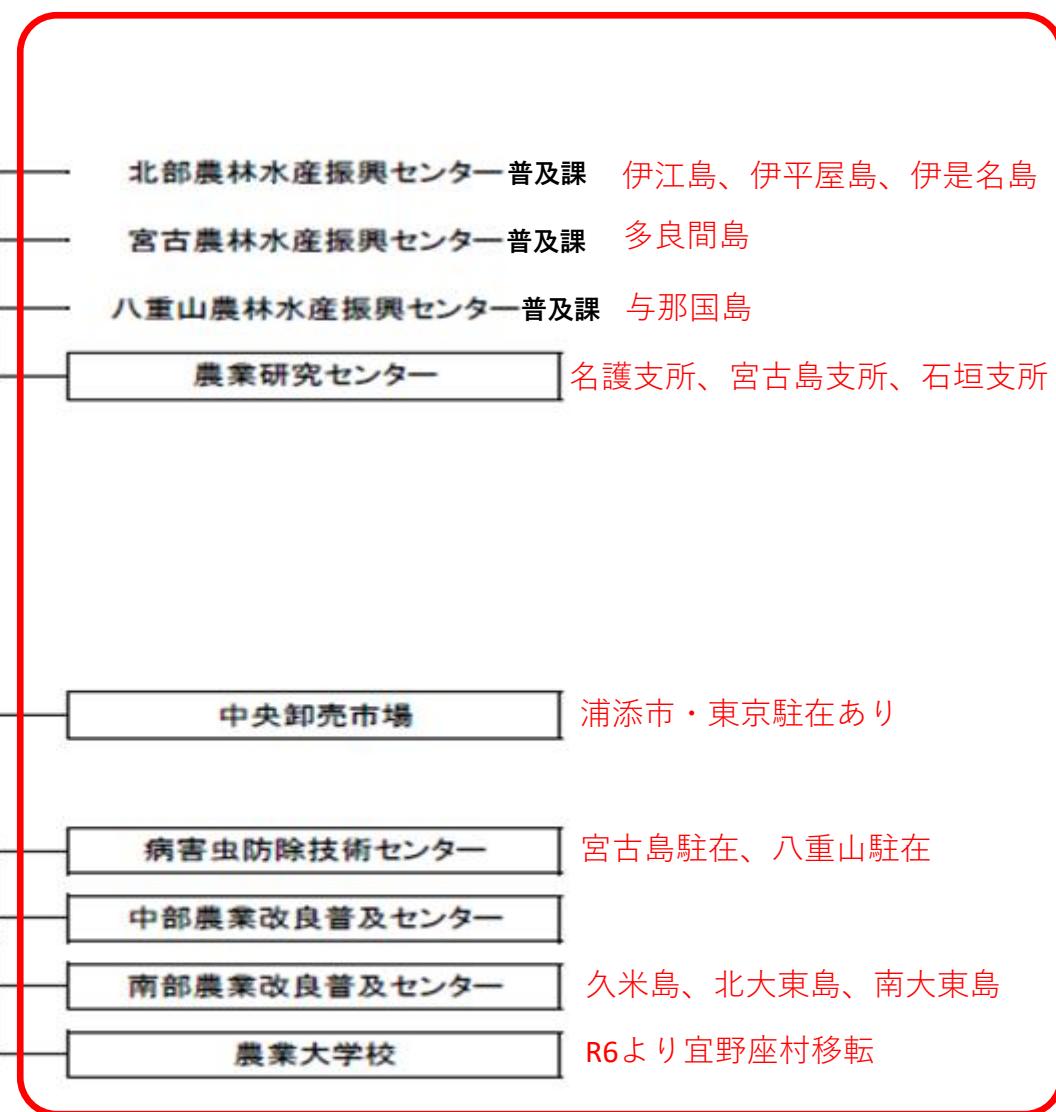
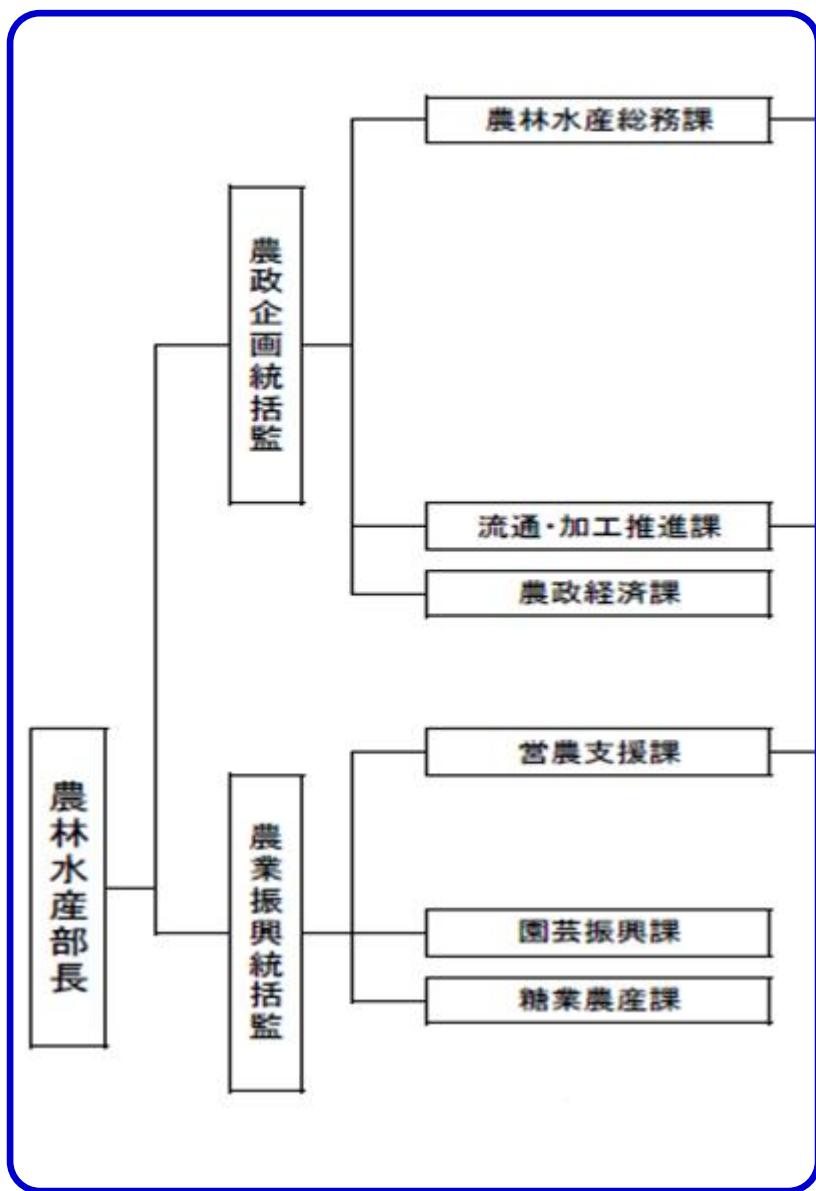
## ～農業職～



<https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/nogyo/index.html>

# 沖縄県 農林水産部 機構図

本庁は6課 ※農業関連



出先機関：普及（5つの普及セ）  
研究（農研セ、防除セ）  
教育（農大）

※この他畜産、水産、林業、農業土木関連の機関があります。

# 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画

## 令和4年度～令和13年度

### 亞熱帯海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興

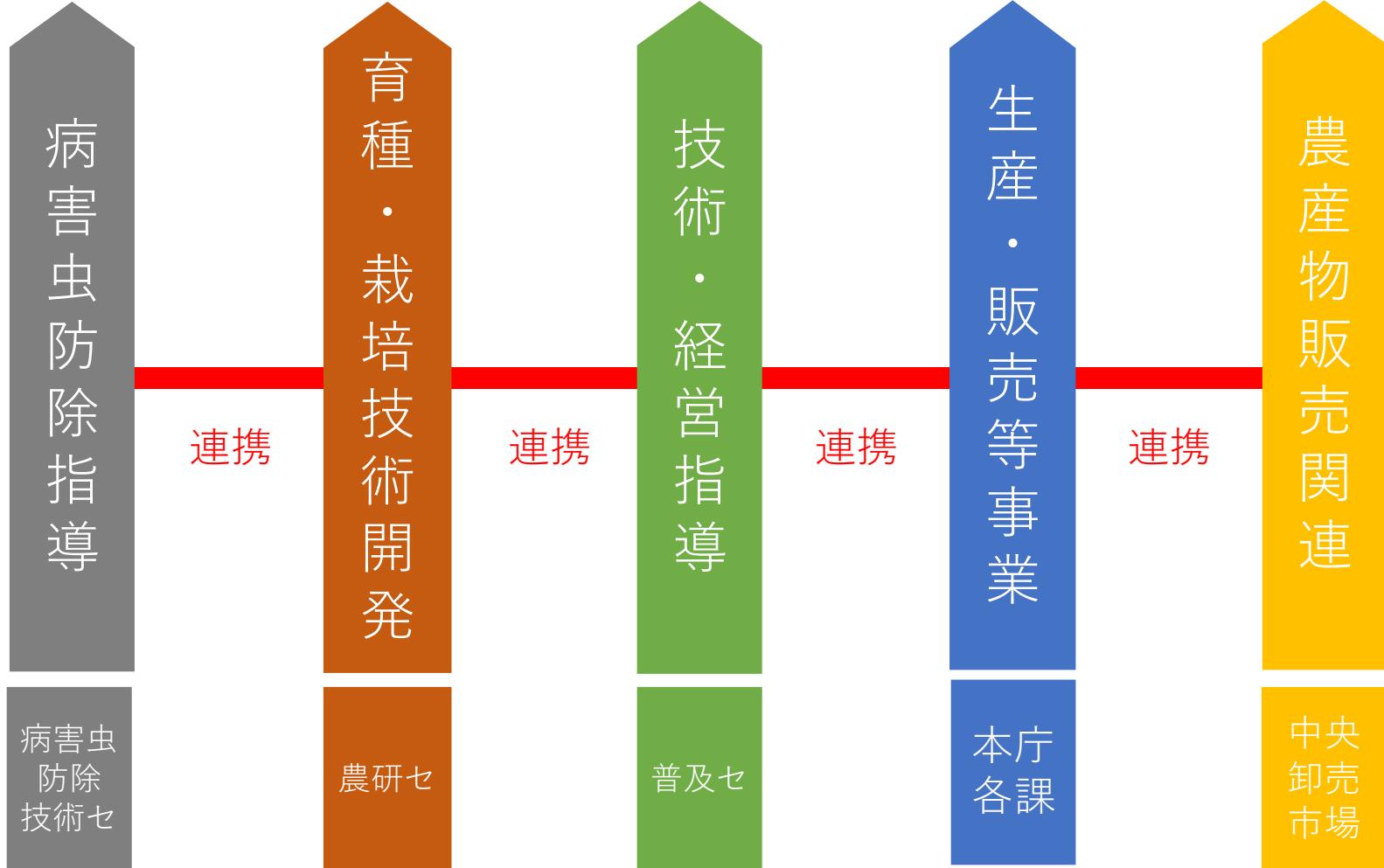
- ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化
- イ 県産農林水産物の安全・安定供給と消費者信頼の確保
- ウ 多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化
- エ 担い手の経営力強化
- オ 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進
- カ 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備
- キ 魅力と活力ある農山漁村地域の振興と脱炭素社会への貢献

令和8年度は折り返し地点、5年間の見直し、今後について検討する年

# 生産現場（農家）

収量増・品質向上

所得向上



関係機関（国・市町村）、出荷団体と連携

# どんな作物を生産しているのか

機械化の推進



さとうきび収穫機械（ハーベスタ）

## さとうきび



スプリンクラーによるかん水

## 水田



「ひとめぼれ」（石垣市）

## かんしょ



奨励品種「ちゅらまる」

## 茶



茶の栽培状況

## 花き



小さくの栽培状況



トルコギキョウの栽培状況  
(災害に強い栽培施設の整備事業)

## 果樹



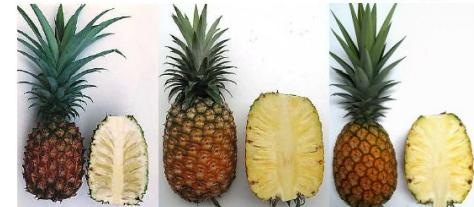
マンゴー（アーウィン）



青切り温州みかん

ソフトタッチ ゴールドバケル

沖農P17  
(商標名:サンドリュー)



パインアップル生食用優良品種

## 野菜



野菜品評会出品物（さやいんげん）



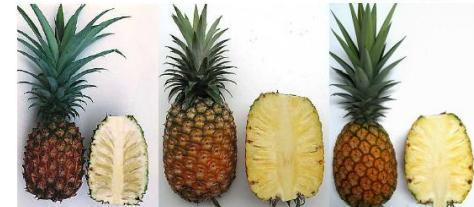
かぼちゃ



オクラ



ゴーヤーの新品種「ていだみどり」



※この他畜産、水産、林業関連の生産物があります。

# 戦略品目

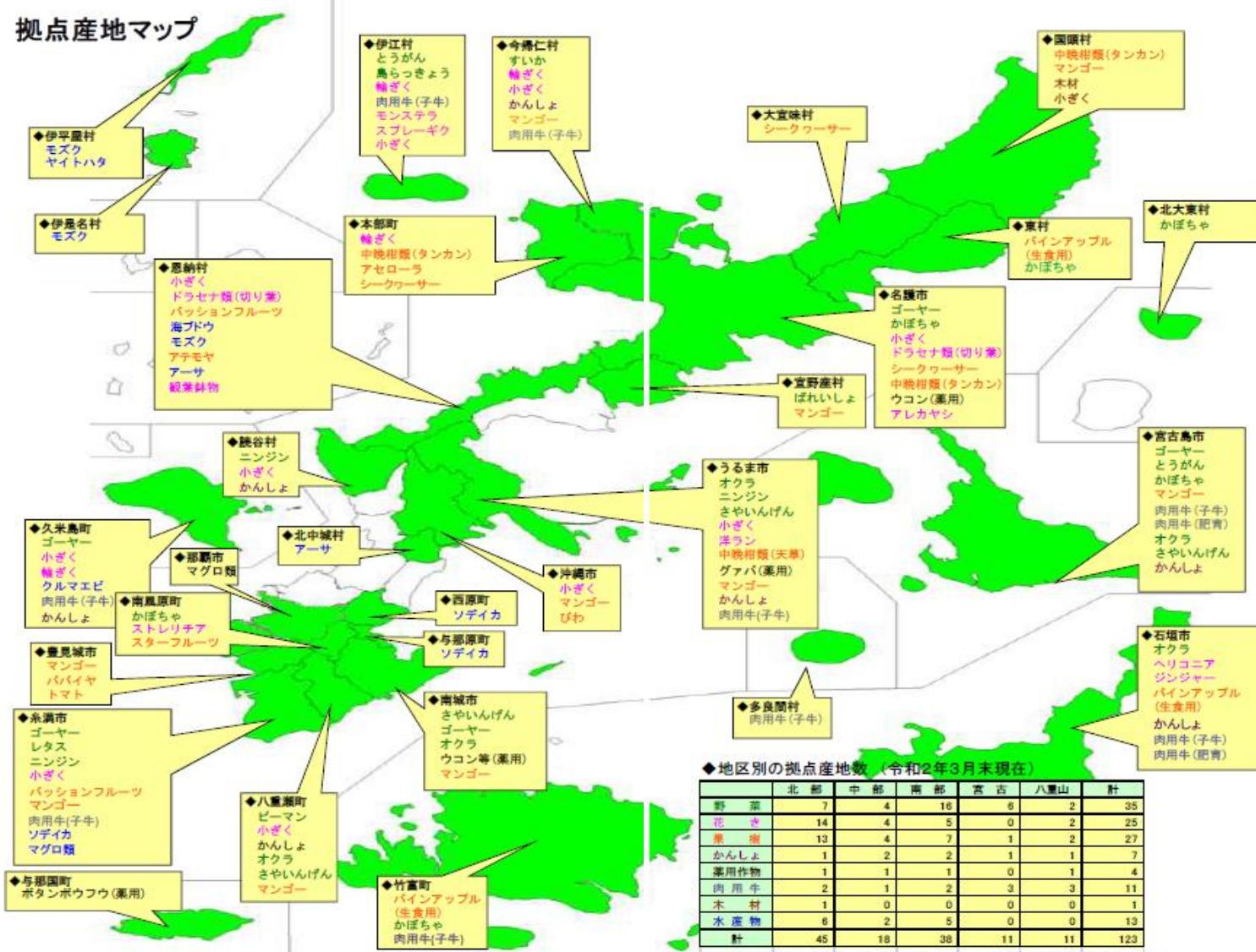
農林水産物の市場競争力の強化により、生産拡大及び付加価値を高めることができる品目。

区分	認定数	品目名	区分	認定数	品目名
野菜	16	さやいんげん	果樹	12	マンゴー
		ゴーヤー			パパイヤ
		レタス			中晩柑類(タンカン、天草、南香)
		スイートコーン			パッションフルーツ
		ばれいしょ			シークワーサー
		さといも			パインアップル(生食用)
		オクラ			アセローラ
		かほちゃ			びわ
		とうがん			アテモヤ
		すいか			スターフルーツ
		メロン			ドラゴンフルーツ
		ニンジン			温州みかん
		ピーマン			かんしょ
花き	11	島らっきょう	特用林産物	1	かんしょ
		トマト			薬用作物
		きゅうり			肉用牛
		輪ぎく			豚
		小ぎく			木材
		スプレーギク			特用林産物
		洋ラン			1
		トルコギキョウ			きのこ
		ストレリチア			クルマエビ
		ヘリコニア			モズク
		レッドジンジャー			スギ
水産物	12	ソリダコ		12	ヤイトハタ
		切り葉			トコブシ
		観葉鉢物			ヒレジャコ
					シラヒゲウニ
					海ブドウ
					アーサ(ヒトエグサ)
					マグロ類
					ソディカ
					カジキ類
					合計
					57

※平成29年3月にアレカヤシ、ドラセナ類、モンステラは  
切り葉へまとめた。

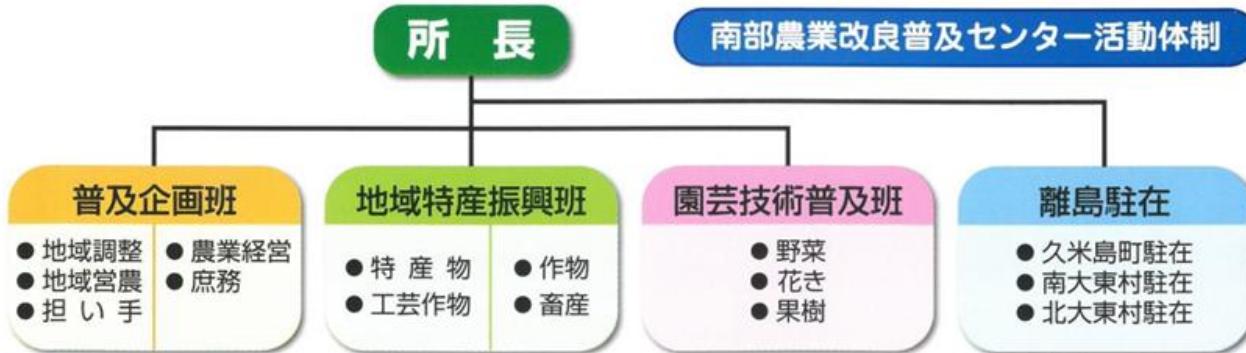
# 拠点産地

組織力を持ち、「定時・定量・定品質」の出荷原則に基づき一定量、生産出荷し、消費者や市場から信頼されうる産地



# 農業改良普及センター(課)

<https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/nogyo/1010742/index.html>



## I 安定的な農業の担い手育成

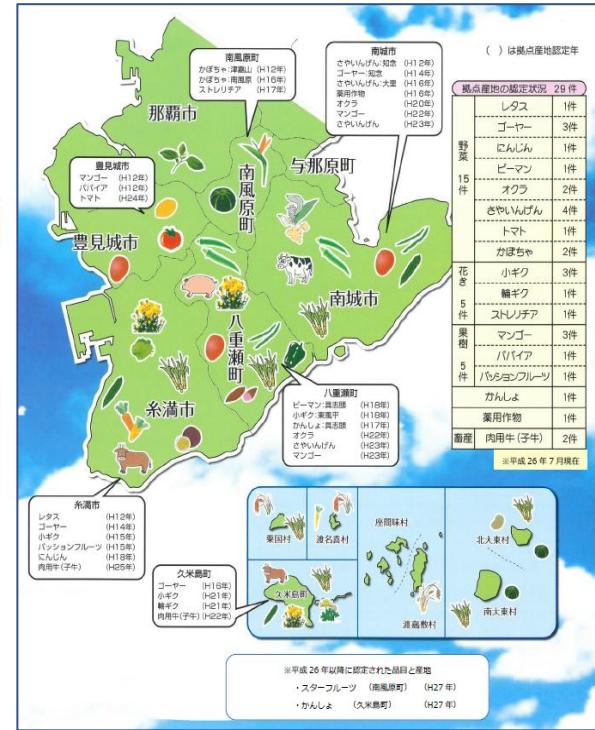
### 経営体の育成



- ・地域のリーダー育成（指導農業士、青年農業士など）
- ・経営感覚に優れた担い手育成（認定農業者）
- ・将来の担い手確保のため新規就農者への研修支援

## III 環境と調和した農業生産

- ・エコファーマー、特別栽培農産物の認証、農業生産工程管理（GAP）



## II 沖縄ブランドに向けた产地育成

- ・野菜、果樹、花きの技術指導
- ・さとうきび・かんしょの技術指導
- ・畜産に関する技術指導
- ・流通・販売に関する支援

## IV 地域資源活用による農村振興

- ・農業者自ら地域産物に付加価値をつけるための加工品の開発や販売への支援

# 沖縄県農業研究センター

<https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/kenkyu/1010703/index.html>



本所

作物班  
野菜花き班  
農業システム開発班  
病虫管理技術開発班  
土壌環境班

名護支所

果樹班  
パイン、熱帯果樹、柑橘  
作物園芸班  
畑作、水田、茶

宮古島支所

園芸グループ  
果樹、野菜  
作物グループ  
畑作

石垣支所

園芸グループ  
果樹、野菜  
作物グループ  
畑作

本県の農業生産拡大を目的に試験研究を行い、技術開発に向けて取り組んでいる。亞熱帯地域の特性、各地域の土壤・気候条件等に適合した優良品種等の育成、省力・低コスト生産技術、高品質・安定生産技術等の開発。

普及機関  
JA  
本庁各課  
市町村

要望課題

農研

課題への対応  
について検討

課題化

試験研究  
評価システム

(外部機関評価・有識者からの評価)

事前評価

研究実施

現場へ  
フィードバック

普及に移す技術

事後評価

# 病害虫防除技術センター

<https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/nogyo/1010700/index.html>

## 特殊病害虫防除事業



アリモドキゾウムシ



イモゾウムシ



ウリミバエ



ミカンコミバエ

ミカンコミバエ種群及びウリミバエの再侵入防止対策、さつまいも害虫ゾウムシ類の根絶事業等を進めています。

## 病害虫の発生予察

さとうきび、野菜類、果樹、水稻などを加害する主要病害虫の「発生時期と量」を予測し、防除の適期や要否の予察情報を提供します。

<https://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/24051.html>

## 防除指導/病害虫診断・検査

農業改良普及センターなどから持ち込まれた農作物の被害等について診断し、防除方法を指導しています。また、病害虫の総合防除等の現地試験を実施しています。

## 農薬の安全使用指導

農薬安全使用基準の徹底など農薬の安全かつ適正な使用について指導しています。農薬取り締法に基づく農薬販売業者及び病害虫防除業者の指導取り締りや、農薬の適正な保管と流通について立ち入り検査による指導をしています。

# 沖縄県立 農業大学校

<https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/nogyo/1010758/index.html>

※次世代の農業を担う、農業後継者・新規就農者の育成を図り、農業に関する新たな学びを得るため、農業に関する研修教育を行う

## 専攻コースの紹介

### 野菜専攻

- 1人1ハウスを担当し、安全、安心な野菜栽培を実践します。
- 種まきから収穫・販売までを学び、生産技術と経営管理能力の習得を目指します。



### 花卉専攻

- 切り花、切り葉類の栽培管理を実践します。
- 新規作物導入に関する基礎的な研究、花き類の種苗生産技術及び経営管理能力の習得を目指します。



### 果樹専攻

- 熱帯、亜熱帯果樹類の栽培と出荷、販売を実践します。
- 実習や農家視察等を通して基本的な果樹栽培の知識や技術、経営管理能力の習得を目指します。



### 肉用牛専攻

- 肉用牛の繁殖技術と母牛、育成牛、肥育牛の飼養管理を実践します。飼料作物生産、貯蔵方法、肥育生産、人工授精等の技術習得や経営管理能力の習得を目指します。



### 実用的な資格取得

#### 農業機械関係

- 大型特殊自動車運転免許（農耕用）
- けん引免許（農耕用）
- 農業機械士
- フォークリフト運転技能講習
- ガス溶接技能者資格
- アーク溶接特別教育



#### 就農や就職で役立つ資格

- 農業技術検定（2級・3級）
- 毒物劇物取扱責任者

#### 畜産関連

- 家畜人工授精師
- 家畜商

#### その他

- 国際農業者交流協会の海外農業研修への応募資格

## エリアマップ



# 1. 県内の農家さんと直接関わる仕事(フィールドワーク)の割合

農家さんと関わる（直接会って対応）程度

多：普及機関、農業大学校

中：農研センター、病害虫防除技術センター

少：本庁各課

ほ場での管理・調査等業務量程度

多：農研センター

中：普及機関、病害虫防除技術センター、農業大学校

少：本庁各課

# 2. 繁忙期の有無と、またその時の業務状況について

本庁各課：予算要求関連業務  
4月：資料作成、5・6と9・10月：財政課ヒア2回、12月内示議会関連対応業務  
6月、9月、11月、2月の1ヶ月程度

普及機関：4～5月推進会議、普及計画検討会議5、10、3月  
担当作物に応じて講習会、農家巡回指導等

農研センター：試験研究評価システム対応 5～7月、成績検討会  
他担当作物に応じて調査、実験等

農業大学校：入学直後4月、実習・授業5月～7月、夏休み8月、就農活動、実習授業9月～3月

ご清聴ありがとうございました。

気軽にご質問をどうぞ。